

# ITU-R SG 4 会合(2024年11月)

## 報告書(案)

### 1. 会合の名称

ITU-R Study Group 4(SG 4)

### 2. 開催日程

2025年11月7日(金)

### 3. 開催場所

スイス連邦ジュネーブ ITU 本部及びリモート会議

### 4. 会合の位置づけ、参加者及び入力文書

衛星業務を扱う第4研究委員会(SG 4)は、WP4A、WP4B 及び WP4C から上程された勧告案、報告案及び研究課題案の審議を行う場であり、議長は Victor Strelets 氏(ロシア)が務めている。

72か国の主管庁、65のROA\*や他団体及びITU事務局から合計506名が出席した。日本からは、表1に示す17名が出席した。

\* ROA: 認められた事業者(Recognized Operating Agency)

本会合においては、**24件の入力文書**について審議が行われ、**3件の出力文書**が作成された。(「6.入出力文書一覧」を参照)

表1 日本からの参加者(敬称略)

|   | 氏名    | 所属                         |
|---|-------|----------------------------|
| 1 | 糸 将之  | 総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 |
| 2 | 飯塚 悠太 | 総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 |
| 3 | 青野 海豊 | 総務省 総合通信基盤局 電波部 電波政策課      |
| 4 | 正源 和義 | 株式会社放送衛星システム               |
| 5 | 鈴木 陽一 | 株式会社放送衛星システム               |
| 6 | 田中 祥次 | 株式会社放送衛星システム               |
| 7 | 辻 蒼一  | 株式会社放送衛星システム               |
| 8 | 三留 隆宏 | スカパーJSAT 株式会社              |
| 9 | 河野 宇博 | スカパーJSAT 株式会社              |

|    |        |                |
|----|--------|----------------|
| 10 | 河合 宣行  | KDDI 株式会社      |
| 11 | 塚本 悟司  | 東北大学           |
| 12 | 蔀 拓也   | 日本放送協会         |
| 13 | 八木 智孝  | 日本放送協会         |
| 14 | 中澤 進   | 日本放送協会         |
| 15 | 伊藤 信幸  | 日本無線株式会社       |
| 16 | 片山 麻衣子 | ワシントンコア L.L.C. |
| 17 | 地引 史子  | ワシントンコア L.L.C. |

## 5. 審議の内容

### 〔結論〕

各 WP から上程された文書審議の結果を以下に示す。議論の詳細は(5)に記載する。

- ・ ITU-R 新勧告案 1 件が採択され、郵便による承認手続きに付された
  - ITU-R 新勧告.[IMT-2020-SAT.SPECS]案
- ・ ITU-R 勧告改訂案 1 件は、2 段階採択・承認手続きに付された
  - ITU-R 勧告 S.1528 改訂案
- ・ ITU-R 勧告改訂案 5 件及び廃止案 1 件を PSAA に付すことで合意した
  - ITU-R 勧告 BO.789-2 改訂案(4/50)
  - ITU-R 勧告 BO.1130-4 改訂案(4/51)
  - ITU-R 勧告 BO.1504 改訂案(4/52)
  - ITU-R 勧告 M.1787-5 改訂案(4/55)
  - ITU-R 勧告 M.632-3 廃止案(4/48)
- ・ ITU-R 新報告案 2 件を承認した
  - ITU-R 新報告 M.[IMT-RNSS]案(4/37)
  - ITU-R 新報告 S.[FUSELAGE ATTENUATION]案(4/43)
- ・ ITU-R 報告改訂案 1 件を承認した
  - ITU-R 報告 M.2305-0 改訂案
- ・ SG 構成見直しに関するサウジアラビア等からの入力文書(4/47)は了知された
- ・ ITU-T SG15 及び SG17 宛のリエゾン返書を承認し、送付した。
- ・ 傘下の WP の作業計画の更新案を了知した。
- ・ その他すべての入力文書を審議し、了知した。

### 〔主な議論〕

#### (1) SG4 議長からの開会あいさつ

イランから、本 SG のみならず WP においてもアジェンダ案のアップロードが遅れることが多発していることについて指摘があり、カウンセラへの過剰な負担が原因で

あれば、人員の追加や人件費の予算措置について理事会で議題にするべきであること、WRC において作成される議題関連決議の文言があいまいで実際の審議では解釈や実現方法についての問題になるため決議策定時に慎重になるべきであることなどが指摘された。SG4 議長からは、これらの問題は非常に重要な点であるが SG4 のみで解決できることではなく、WRC や RA での議論も必要で、包括的な考慮が必要であるとの見解が示された。

## (2) ラポータの任命

ラポータには Olga Mironova 氏(ロシア)が任命された。

## (3) 前回 SG4 会合のサマリーレコード(4/33)

前回 SG4 のサマリーレコードは、発行後も特に意見は表明されていないことが報告され、議論なく承認された。

## (4) 第 32 回無線通信アドバイザリグループ(RAG)の結論実施に関する BR からの通知(4/38)

2025 年 4 月に開催された第 32 回 RAG の結論の実施に関する情報を通知する BR からの通知文書であり、すでに各 WP でも紹介済みである。SG4 に関連する内容として、Study Group Activities の項目が簡単に紹介された。

- ・ イランから、BR の Space Service Department が再編されて以来新たな組織構成についての回章が送られておらず、現在の体制が把握できないことが指摘された。フランスはこの問題意識を支持し、ウェブサイトでの情報提供でもよいと述べたが、イランは回章を送付すべきであると主張した。SG4 議長から、要望は事務局を通じて局長に伝えるとともに、本会議のサマリーレコードにも記載すると述べた。

## (5) 各 WP から上程された文書の審議

### (5)-1 WP4A

#### ●会合報告(4/57)

WP4A 議長 Michel Olivier Ndi 氏(カナダ)から、2025 年に開催された 2 回の会合(4 月及び 10 月)について報告された。担当する WRC-27 議題関連作業の進捗と課題、リードグループとして作成している 2 件のハンドブック関連作業の進捗、WRC 議題に関連しない勧告・報告関連作業の進捗について報告された。同 WP の会合は前日まで開催されていたため、本会合報告の内容は今後誤記の修正等を含め改訂される見込みであることが併せて説明された。今回 SG には以下の文書を提出した。

- ・ ITU-R 勧告 BO.1504 改訂案

- ・ ITU-R 勧告 S.1528 改訂案
- ・ ITU-R 新報告 S.[FUSELAGE ATTENUATION] 案

この報告に対し、SG4 議長から、短時間で包括的かつ分量も多い会合報告が作成されたこと、WP4A に係る過剰な負荷の元での議長の働き、WP4A における難しい課題についての所感が述べられ、WP4A 議長を支援しなければならないとの呼びかけがあった。

#### ●上程した文書

- ITU-R 勧告 BO.1504 改訂案(放送衛星業務(音声)に割り当てられた周波数の効果的利用)(4/55)  
特段の質疑はなく、PSAA に付された。
- ITU-R 勧告 S.1528 改訂案(30GHz 未満の FSS で運用される非静止軌道衛星アンテナの放射パターン)(4/56)  
本文書については、WP4A における審議において、PSAA ではなく二段階の採択・承認手続きを取るべきであるとの意見が付されていることが説明された。本勧告の改訂作業を担当した SWG 議長からは、数式の誤りの修正を目的とした改訂であり、多くの WRC 議題のための検討でも使用されている勧告であるため、迅速な承認を求めたい旨が説明されたが、イランから 2 か月程度であれば問題なく、慎重を期すべきであると主張したことから、二段階の採択・承認手続きに付された。
- ITU-R 新報告 S.[FUSELAGE ATTENUATION] 案(27.5-29.5 GHz 帯で運用される航空 ESIM(A-ESIM)の機体減衰シミュレーション結果)(4/43)  
特段の質疑等はなく承認された。

#### (5)-2 WP4B

##### ●会合報告(4/53)

WP4B 議長 David Weinreich 氏(Globalstar)から、2025 年に開催された 2 回の会合(4 月及び 10 月)の会合について報告された。今回 SG には以下の文書を提出したことが報告された。

- ・ ITU-R 新勧告 M.[IMT-2020-SAT.SPECS] 案
- ・ ITU-R 勧告 BO.789-2 改訂案
- ・ ITU-R 勧告 BO.1130-4 改訂案

#### ●上程した文書

- ・ ITU-R 新勧告 M.[IMT-2020-SAT.SPECS] 案(IMT-2020 の衛星コンポーネントの詳細な仕様)(4/41 Rev.1)

WP4B インターフェイスの詳細な仕様を含む文書であり、一括で採択を求める旨が WP4B 議長から述べられた。本文書は WP4B の 5 月会合で承認され SG4 に上程されたものであるため、本 SG 会合で採択された。

SG4 議長からは本勧告案が完成したことについて祝意と関係者への謝意が述べられたほか、カウンセラからは BR 局長から、同勧告は IMT-2020 エコシステムにおける衛星/地上コンポーネントの意向を推進するうえで重要なマイルストーンであり、ITU-R プロセスの強みを体現するものであること、加盟国による採択・承認を期待すること、及び本勧告が世界のイノベーションに寄与することを祈念する内容のステートメントが読み上げられた。

- ・ ITU-R 勧告 BO.789-2 改訂案(1400–2700MHz 帯における衛星放送業務(音声)用の車載、ポータブル及び固定受信機のサービス)(4/51)
- ・ ITU-R 勧告 BO.1130-4 改訂案(1400–2700MHz 帯における衛星放送業務(音声)用の車載、ポータブル及び固定送受信機のシステム)(4/52)

以上 2 件の勧告改訂案は、いずれも Digital System A (Eureka-147 DAB)規格(ETSI 規格)の更新に伴い、参照されている Mode II-IV が削除され、本勧告で扱われる衛星放送業務(音声)とは関係がなくなったことから、System A への参照を削除するための改訂であり、いずれも前回の改訂が 2000 年代より前であるため、現在の勧告のフォーマットに合わせるための修正を合わせて行うことを提案するものである。いずれの文書についても、一部軽微な修正を行ったうえで、PSAA による採択・承認手続きに付された。

### (5)-3 WP4C

#### ●会合報告(4/54)

WP4C 議長(河合宜行氏(日本))から、担当する WRC-27 議題関連作業の進捗と課題、ハンドブック関連作業の進捗、勧告改訂作業の進捗について報告された。今回 SG には以下の文書を提出している。

- ・ ITU-R 勧告 M.1787-5 改訂案
- ・ ITU-R 勧告 M.632 の廃止案
- ・ ITU-R 新報告 M.[IMT-RNSS] 案
- ・ ITU-R 報告 M.2305-0 改訂案

本報告については、主に以下の質疑が行われた。

#### ① 入力文書の提出期限

提出期限後に提出された寄与文書を例外的に審議したものの、その扱いの決定に時間を要した旨が述べられたことについて ITU-R 決議 1–9 には BR は期限を過ぎて提出され

た文書は受け付けてはならないことが明示的に指示されており、この判断を WP に転嫁すべきではない、との意見がイランから述べられた。SG4 議長は、不可抗力により提出が遅れた場合、BR がこれを完全に拒否できるかについては議論の余地があり、提出先の WP がその扱いを決めるべきとの個人的な考えを示したが、RA での決定が必要との見解であった。また、米国からは同決議において、文書の扱いについては①期限を過ぎた入力文書を BR は受理できない、及び②会合開始時に入手できなかった文書は審議できないとの 2 段階の記述があり、締め切りから会合開始までの間の期間の間に空白があると指摘し、原則論としては締め切りを順守するべきではあるが、本件については SG4 のみで決定できることではなく、今後さらなる議論が必要であるとの見解が示され、SG4 議長からは、改めて期限順守が呼びかけられた。

## ② 他 WP との日程重複

イランから、今回会合では 3 日間にわたり WP5D と WP4C が重複して開催されたが、少数の代表団しかない主管庁にとってはすべてに対応することが困難であるとの指摘があった。SG4 議長から、今後重複は 1 日までということに合意しているが、その場合 2 つの WP のプレナリを午前と午後で分け合うことになり、スケジュール的に負荷が高いことが指摘された。また、日程を重複して開催することにより参加者が実際に顔を合わせて議論できるという利点もあるとして、重複開催以外の別の形での協力については SG 構成の見直しの議題の際に詳しく議論したいとの発言があった。

## ③ WRC 議題とその他の作業のバランス

ATDI から、最近の WP4C について、WRC 議題に偏っているとしてバランスを保つべきであるとの意見が述べられた。WP4C 議長から、WRC 議題とその他の作業のバランスについては WP 会合でも指摘されており、十分認識しているところ、今回の研究会期は特に議題が多く負荷がかかっているものの、議題以外の作業も十分に行われているとの認識が示された。

## ④ 勧告の適用について

イランから、NGSO に関する勧告が存在しない場合に GSO に関する勧告を任意に使用することは誤りで、NGSO に使用できる勧告が存在しないのであれば、GSO 勧告を使用するのではなく、別の方法を取るべきであること、また本 SG の一部の WP では P シリーズ勧告を適用する際に勧告で定められたスコープに沿っていないことの指摘があった。これに対し、米国からは、勧告を定められたスコープ内で使用することは重要であるが、必ずしも答えを得るために必要な勧告が得られない場合もあるので一律には判断できないとの見解が述べられた。また SG4 議長からは、勧告がないということが共用検討をしない理由にはならないとして、ケースバイケースで判断すべきであるとの見解が述べられた。イランからは、勧告は定められたスコープ内で使用するべきであり、GSO に関する勧告を NGSO に適用することについては SG4 では合意がないが今後どのように扱うかは今後

検討する必要がある、との旨の内容をサマリーレコードに記録することを提案し、SG4 議長はこれに同意した。

#### ●上程した文書

- ・ ITU-R 勧告 M.1787-5 改訂案(RNSS におけるシステム及びネットワーク (s-E·s-s)の説明及び 1164-1215 MHz、1215～1300 MHz 及び 1559～1610 MHz の周波数帯で運用される送信宇宙局の技術特性)(4/50)  
本勧告は RNSS の技術運用特性を提供するものであり、関心が高い分野で頻繁に新たな情報の追加や既存の情報の修正が提案されることから、前回の改訂から 2 年経っていない改訂であることが説明された。特段の異論はなく、PSAA に付された。
- ・ ITU-R 新報告 M.[IMT-RNSS] 案(RNSS の IMT のスプリアス発射からの保護)(4/37)  
イランから、サマリー部分の書きぶりが RNSS を確実に保護するためには“could consider”との書きぶりは軽すぎるとの指摘があり、修正が提案された。これに対し、米国から同報告案は WP4C と WP5D の間の繊細な妥協によって成り立っており、修正に反対の意見が述べられた。イランから米国の発言者がリモート参加であることから理事会の決定に従えば意思決定に参加する権利がないこと、及び RNSS の保護に関する内容で IMT 側の立場で「繊細な妥協」という理由で修正に反対することは誤りであるとの反論があった。結果的にフランスが提案した“are invited to consider”とすることを米国が容認したことから、修正した形で承認された。  
なお、この議論の経緯についてはイランが自国の主張をサマリーレコードに記載することを求めた。リモート参加者の権利について、SG4 議長は「リモート参加者は投票に参加はできないがコンセンサスには含まれる」と説明した。イランが理事会決定は投票と限定していないと再反論するなどしたが、収束しないまま議論は打ち切られた。
- ・ ITU-R 勧告 M.632 廃止案(1.6 GHz 帯における静止衛星を介して運用される衛星緊急位置指示無線標識装置(衛星 EPIRB)システムの伝送特性)(4/48)  
当該システムがすでに稼働していないことから廃止が提案されたものであり、特段の意見はなく PSAA に付された。
- ・ ITU-R 報告 M.2305-0 改訂案(1215～1300MHz 周波数帯で運用される RNSS 受信機に対する、複数の EESS システムからのアグリゲート干渉事象の可能性の検討)(4/49)  
本報告改訂案は、WP4C と WP7C との間の綿密な連携の結果成立した文書の改訂案であることが説明された。特段の異論はなく承認された。

#### (6) 第 33 回 RAG に提出するレポート案

サウジアラビア、アルジェリア、バーレーン、ヨルダン、クウェート、オマーン、チュニジアから、次回第 33 回 RAG に報告する内容(第 32 回 RAG の結果(CA/277)への応答)の提案として、寄書数、会合参加者数、WRC 議題作業の他 SG への依存等の観点から SG4 の作業負担を分析し、作業上の課題(一部の検討事項が複数の他 SG により検討されていることから他 SG の WP からの情報提供や確認を待つ時間が発生することやパラレル会合の増加等)や作業負担の偏り、重複などを改善するために SG 構造の見直しが必要であると論じる寄与文書が提出された(5/47)。

SG4 議長から、今回は十分な審議時間がなく SG4 としての提案はできないため、提案者が直接 RAG へ提出し、SG4 で紹介済みと注記することが提案され、提出者が同意した。本文書は了知された。

#### (7) ITU-R の WP 等からのリエゾン文書

以下 2 件のリエゾン文書が ITU-R の WP から送付されたが、いずれも SG4 には情報としてコピー送付されたものであるため、特段のアクションは不要として了知された。

表 2 了知された ITU-R WP 等からのリエゾン文書

| 文書番号<br>4/** | 提出元  | 概要  |
|--------------|------|---|
| 36           | WP4C | WP4Aがリードグループとなって作成中の衛星通信ハンドブックについて、WP4Cが担当するMSS/RDSSに関する章について作業した成果を連絡する内容。   |
| 42           | WP1B | ITU-T SG3への返答リエゾン文書ITU-TとITU-Rの作業重複に関するRAGからの指示に従い、ITU-T SG3は費用モデルの研究に集中すべきであることを強調し、またITU-T SG3の新作業項目として提案されている新勧告案「リテール衛星事業者による高速インターネット接続の提供に関する経済的及び政策的側面」については作業開始前に調整が必要であることを連絡。 |

#### (8) その他のリエゾン文書等

ITU-T から送付されたリエゾン文書の内、2 件については、返答を作成した。

- ・ ITU-T SG15(Free Space Optics:FSO)
  - ITU-T SG15(トランスポート、アクセス及びホームのネットワーク、技術、インフラストラクチャ)から、同 SG で最近研究を開始した光空間通信(FSO)に関連し、SG4 の研究範囲に衛星間光空間通信が含まれるかを問い合わせる内容のリエゾン文書が送付された(4/34)。本件については傘下の各 WP にも送付され、前回 WP4B で作成されたリエゾン文書案が最終プレナリで審議されず取り下げとなったことも踏まえ SG4 から返答することとなった。
  - 衛星が関与する光空間通信を扱った ITU-R 勧告 S.1590(20–275THz の範囲で運用される衛星の技術運用特性)について知らせ、さらなる情報が必要であれば WP4B が協力する用意があることを連絡する内容のリエゾン文書案が SG4 議長から提示され(4/TEMP/1)、特段の異論はなく承認された。

- ・ ITU-T SG17(セキュリティ)
  - ITU-T SG17(セキュリティ)から、セキュリティ担当連絡先情報の更新と、現在作成中のセキュリティに関連する勧告又はその他の文書に関する情報の提供を求めるリエゾン文書が送付された(4/39)。
  - 情報が最新ではないことから返答を作成する必要があることが確認され、SG4 議長である Strelets 氏を SG4 のセキュリティ担当連絡先とし、SG4 所掌下の関連 ITU-R 勧告等を連絡する内容のリエゾン文書案が提示された(4/TEMP/2)。特段の異論はなく、リエゾン文書は承認された。
  - なお、ITU-R SG5 から、同リエゾン文書への返答が送付されていた(4/45)が、同文書はコピー送付であり、情報として了知された。
- ・ ITU-T 等から送付されたその他のリエゾン文書(下表のとおり)については、すべて SG4 としてはアクションの必要なしとして了知された。

表 3 了知されたその他のリエゾン文書等

| 文書番号<br>4/** | 提出元              | 概要  |
|--------------|------------------|---|
| 35           | ITU-T SG3        | 新たな作業項目としてプロビジョニング衛星インターネット接続サービスのコストモデルに関する新たなITU-T技術レポートの作成が暫定的に承認されたことを連絡  |
| 40           | TSAG             | 持続可能なデジタルトランスフォーメーション・ラボータグループ(RG-DT)からITU-T、ITU-R、ITU-Dやその他の標準化機関におけるギャップ分析を行うために、持続可能なデジタルトランスフォーメーションに関連する活動及び研究に関する情報提供を求める |
| 44           | BR局長<br>(UNOOSA) | ITU-R決議74ハンドブックに含めるべき情報の提供を依頼したWP4Aからのリエゾン文書に対するUNOOSAからのリエゾン返書   |
| 46           | エジプト<br>(ASMG)   | ASMGに以下を活動内容とする「Working Group on Satellite Technologies」が設置されたことを連絡し、衛星関係者に対し、2025年12月8日に開催される会合に向けた寄与文書の提出を募るもの                |

(9) SG4 下の WP に割り当てられた研究課題、勧告、報告、ハンドブックのステータス  
 前回までの SG 関連会合における審議状況を反映した研究課題、勧告、報告、ハンドブックのステータスを示す文書(4/1 Rev.2)について、今回の会合の結果を受けて必要な改訂を行うこととした。これに関連して、SG4 議長から、これらの文書の進捗を把握する担当者として副議長を充てることとなり、WP4A については A. Tajibayev 氏(カザフスタン)、WP4C については A. Huissen 氏(エジプト)をそれぞれ任命することが連絡された。なお、WP4B については未定であり、今後検討が必要である。

#### (10) 2027 年までの SG4 の作業計画

各 WP の作業計画(4/8 Rev.5)は、TEMP/3 は WP4B 及び4Cの作業計画の更新分を反映した改訂案である。

- ・ 米国から、多くの項目について締め切りが 2024 年となっていることが指摘され、各 WP 議長は改めて確認するよう促された。

- ・ 米国から、ITU-R 勧告 S.2131 の改訂作業の期限が No later than 2<sup>nd</sup> WP 4B meeting 2026 とあるが、現状ではアベイラビリティに関する寄与文書3件を要約した文書が議長報告に添付されているのみであり、期限までに完成できる見込みがあるかについて質問があった。WP4B 議長からは、次回 WP4B 会合に具体的な寄与文書の提出を予定しており、来年 2 回の会合で作業を進められると考えているとの返答があった。これに対し、米国からは WP4B における議論において、具体的にいつまでに完成させるというような議論がなされていない旨、指摘された。

前日終了したばかりのWP4Aについてはまだ更新が反映されていなかったことを受け、作業計画の更新案(TEMP/3)は会合終了後に WP4A 分も含めて Rev.6 として更新することとされた。

(11)今後のスケジュールと次回の予定

**次回 SG4 関連会合の予定:**

- ・ WP4C:2026 年 4 月 22 日～5 月 1 日
- ・ WP4B:2026 年 4 月 29 日～5 月 5 日
- ・ WP4A:2026 年 5 月 4 日～5 月 14 日
- ・ SG4:2026 年 5 月 15 日※

※SG4 開催の代わりに WP4A が作成中のハンドブック関連ワークショップの開催が提案されている(以下参照)。

**ハンドブックに関するワークショップの開催**

SG4 議長から、次回 SG4 関連会合の最終日である2026年 5 月 15 日(金)に、衛星技術ハンドブックと ITU-R 決議 74 ハンドブックに関する合同のワークショップ開催が提案されていることが連絡された。この提案について、米国とカナダからは CPM テキスト案の締め切り直前にハンドブック関連イベントを行う余裕はないとの意見が述べられ、ITU Space Sustainability Forum 中に開催することが提案された。議長からは、5 月 15 日(金)は元来(WP4A のものではなく)SG4 会合開催のために留保されている日程であり、検討材料として提示したものであると説明した。BR との間でさらに協議することとなり、具体的な結論は出なかった。

**WP4A 及び4C の追加会合開催の可能性:次回会合で最終決定**

SG4 議長から、SG4 傘下の WP においては責任グループとなっている WRC 議題が多く、中でも特に WP4C の議題 1.13、WP4A の議題 7 などの作業完了のめどが立たない中、例えば 7 月に短期間(1週間)の追加会合の開催が考えられるとの意見が示された。候補日程は 7 月 6～10 日の 5 日間である。

この提案については、開催の是非に加え、その形態についても異なる意見が述べられた。

#### (開催の是非)

- ・ 開催を支持:日本やスウェーデンから、時間が足りないことは明白であるとして、追加会合の開催を支持する考えが示された。ロシアも事前に議論の準備を行うことを前提に支持。
- ・ 追加会合不支持:米国、カナダ、トンガなどは、現状では追加の会合を支持しない旨を表明した。主管庁への追加の財政的な負担が大きいという、時間を追加しても現状の議論の方法では解決しないとの見方が示された。

#### (会議の形態)

- ・ オンラインまたはCGを提案:オーストラリア、サモアからは、途上国や会合参加のための長距離移動が必要である国にとっては短期間の会合は予算的あるいは時間的に困難であるため、完全オンライン会合やメールでの議論を提案。
- ・ 対面会合を主張:イランは追加会合には反対であるとしながら、開催するのであれば対面での開催が必要であるとの主張

#### (その他)

- ・ 会期延長の提案:中国は、会期を延長することを提案したが、スケジュール問題で不可能であることが指摘された。
- ・ CPMテキスト提出期限の延長を主張:米国は、追加会合の決定以前に、現在WP4Aの2026年2回目の会合の最中に設定されているCPMテキスト提出期限を、WP4A会合終了後まで延長するようCPMマネジメントに要請することを提案

以上の議論を受け、SG4 議長からは次の結論が述べられた。①追加会合については、2026年4月から5月に開催される各WPで議論し決定するが、各主管庁では開催することになった際に必要なりソースを確保すること、②2025年12月に開催されるCPMマネジメント会合で、CPMテキスト案提出締め切りの問題について提起する。

#### (12)その他

SG及びWP会合への寄与文書の提出等について、SG4議長から以下が連絡された。

- ・ ITU-R 決議 1-9 に基づき、寄与文書の締め切りは厳守されたい。
- ・ WP4A において策定中のハンドブック2件(衛星通信技術ハンドブック、及びITU-R 74 決議に基づくベストプラクティスに関するハンドブック)について、エディターの作業負荷が非常に高くなっていることから、会合終了後にエディターが編集作業を行い、WP4A に編集後の作業文書を入力文書として提出することが可能である旨、確認された。

## 6. 入出力文書一覧

表 4 SG4 への入力文書一覧

| 文書番号<br>4/** | 提出元                            | 題目  | 結果     |
|--------------|--------------------------------|---|--------|
| 1 Rev.2      | Chair, SG 4                    | Assignment of texts to the Study Group 4 Sub-Groups   | —      |
| 8 Rev.5      | Chair, SG 4                    | Work plan for Study Group 4 and its Working Parties 4A, 4B and 4C until 2027  | TEMP/3 |
| 33           | Chair, SG 4                    | Summary record of the meetings of Study Group 4 (Geneva, 1 November 2024)   | 承認     |
| 34           | ITU-T SG15                     | Liaison statement on satellite to satellite free space optical communication  | TEMP/1 |
| 35           | ITU-T SG3                      | Liaison statement on the provisional approval of a new work item on cost models for provisioning satellite internet connectivity services   | 了知     |
| 36           | WP 4C                          | Liaison statement to Working Party 4A (copy to Study Group 4 and Working Party 4B) - Handbook on Satellite Communications   | 了知     |
| 37           | WP 4C                          | Draft new Report ITU-R M.[IMT-RNSS] - Studies regarding protection of radionavigation-satellite service receiving earth stations operating in the frequency bands 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz and 1 559-1 610 MHz from spurious emissions of IMT stations in the frequency bands below 3 GHz | 承認     |
| 38           | Director, BR                   | Additional information on the summary of conclusions of the 32nd meeting of the Radiocommunication Advisory Group for the attention of all ITU-R Study Groups and Working Parties   | 了知     |
| 39           | ITU-T SG17                     | Liaison statement on request to update security contacts and to provide information on security-related recommendations or other texts under development  | TEMP/2 |
| 40           | TSAG                           | Liaison statement on the activities and studies on sustainable digital transformation   | 了知     |
| 41 Rev.1     | WP 4B                          | Draft new Recommendation ITU-R M.[IMT-2020-SAT.SPECS] - Detailed specifications of the satellite radio interfaces of International Mobile Telecommunications-2020 (IMT-2020)  | 採択     |
| 42           | WP 1B                          | Reply liaison statement to ITU-T Study Group 3 (Copy to ITU-R Study Groups 1 and 4, and to ITU-R Working Parties 4A, 4C and 1C for information) - Creation of new work item on economic and policy aspects of the provision of high-speed Internet connectivity by retail satellite operators     | 了知     |
| 43           | WP 4A                          | Draft new Report ITU-R S.[FUSELAGE ATTENUATION] - Simulation results of fuselage attenuation for aeronautical earth stations in motion (A-ESIM) in the 27.5-29.5 GHz band   | 承認     |
| 44           | Director, BR                   | Contribution from the United Nations Office for Outer Space Affairs (UNOOSA) to the ITU-R Handbook on Best practices for the sustainable use of frequencies and associated non-GSO orbits by space radiocommunication services (copy to Study Group 4 for information)                            | 了知     |
| 45           | Chair, SG 5                    | Note to the Chair ITU-T Study Group 17 copy to ITU-R Study Groups 4, 5 and ITU-D Study Group 2 - Update of the security contact and information on security-related Recommendations or other documents  | 了知     |
| 46           | Egypt                          | Call for input contributions for the ASMG Working Group on Satellite Technologies   | 了知     |
| 47           | Saudi Arabia etc. <sup>1</sup> | Proposed draft Report to the 33rd Radiocommunication Advisory Group meeting on challenges, overlaps, or opportunities for improvement in current Study Group 4 scope of work  | 了知     |

<sup>1</sup> Saudi Arabia , Algeria , Bahrain , Jordan , Kuwait , Oman , Tunisia

| 文書番号<br>4/** | 提出元          | 題目  | 結果       |
|--------------|--------------|---|----------|
| 48           | WP 4C        | Suppression of Recommendation ITU-R M.632 - Transmission characteristics of a satellite emergency position-indicating radio beacon (satellite EPIRB) system operating through geostationary satellites in the 1.6 GHz band  | PSAA     |
| 49           | WP 4C        | Draft revision of Report ITU-R M.2305-0 - Consideration of aggregate radio frequency interference event potentials from multiple Earth exploration-satellite service systems on radionavigation-satellite service receivers operating in the 1 215-1 300 MHz frequency band                                 | 承認       |
| 50           | WP 4C        | Draft revision to Recommendation ITU-R M.1787-5 - Description of systems and networks in the radionavigation-satellite service (space-to-Earth and space-to-space) and technical characteristics of transmitting space stations operating in the bands 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz and 1 559-1 610 MHz | PSAA     |
| 51           | WP 4B        | Draft revision of Recommendation ITU-R BO.789-2 - Service for digital sound broadcasting to vehicular portable and fixed receivers for broadcasting-satellite service (sound) in the frequency range 1 400-2 700 MHz  | PSAA     |
| 52           | WP 4B        | Draft revision of Recommendation ITU-R BO.1130-4 - Systems for digital satellite broadcasting to vehicular, portable and fixed receivers in the bands allocated to BSS (sound) in the frequency range 1 400-2 700 MHz   | PSAA     |
| 53           | Chair, WP 4B | Executive report of the fifty-sixth and fifty-seventh meetings Working Party 4B - (Shanghai, 30 April - 6 May 2025 & Geneva, 22 - 28 October 2025)  | 了知       |
| 54           | Chair, WP4C  | Executive report of the thirty-third and thirty-fourth meetings of Working Party 4C - (Shanghai, 23 April to 2 May 2025, Geneva, 15-24 October 2025)  | 了知       |
| 55           | WP 4A        | Draft revision of Recommendation ITU-R BO.1504 - Effective utilization of spectrum assigned to the broadcasting satellite service (sound)   | PSAA     |
| 56           | WP 4A        | Draft revision of Recommendation ITU-R S.1528 - Satellite antenna radiation patterns for non-geostationary orbit satellite antennas operating in the fixed-satellite service below 30 GHz   | 2段階採択・承認 |
| 57           | Chair, WP 4A | Executive Report of the fifty-sixth and fifty-seven meeting of Working Party 4A (Shanghai, 5 -16 May 2025 and Geneva 27 October - 6 November 2025)  | 了知       |
| 58           | BR, SG Dept  | List of documents issued (Documents 4/33 - 4/58)  | —        |

表 5 SG4 の出力文書一覧

| 文書番号<br>4/TEMP/** | 題目  | 審議結果           |
|-------------------|---|----------------|
| 1                 | Draft reply liaison statement to ITU-T study group 15 —ITU-R Recommendation S.1590 - Technical and operational characteristics of satellites operating in the range 20-375 THz                      | ITU-T SG15 宛送付 |
| 2                 | Draft reply liaison statement to ITU-T SG 17 (Copy to ITU-R SG 5 for information) —Update to security contacts and information on security-related Recommendations or other texts under development | ITU-T SG17 宛送付 |
| 3                 | Work plan for Study Group 4 and its Working Parties 4A, 4B and 4C until 2027  | 4/6 Rev.6 に反映  |